



〒030-0180
青森市第二問屋町3丁目1番89号
東奥日報社
電話 017-739-1111
(C)東奥日報社 2008

インターネット
号外

ご購読のお問い合わせは
東奥日報社読者局



0120-146-5939

ヨム

コウドクサンキュー

24時間受付

馨執念の金



レスリング 女子 63キロ級連覇

北京五輪第10日の17日、レスリング女子63キロ級に出場した伊調馨（八戸市出身、総合警備保障）は、決勝でカルタシヨワ（ロシア）と対戦、2-0の判定勝ちを決め、前回のアテネ五輪に続き金メダルに輝いた。16日の48キロ級で銀の姉・千春と共に、2大会連続で、姉妹そろってメダルを獲得した。

【女子63キロ級決勝】ロシアのカルタシヨワ（下）を攻める伊調馨＝中国農大体育館（共同）

第2ピリオドもこうちやく状態が長く続き、伊調馨は終盤、タックルを狙うが決まらず、再びポールピックアップに。今度は伊調馨が脚を取る攻めの姿勢から始まり、これを生かして、今年の欧州選手権を制しているカルタシヨワを撃破した。

伊調馨は、初戦2回戦3回戦と堂々のフオール勝ち。準決勝ではダグレニア（カナダ）にタックルからバックを奪われ第2ピリオドを落としたが、2-1の判定で決勝に勝ち進んだ。

伊調馨の話（姉の）千春と一緒に歩んできた道のりが金メダルになった。苦しい戦いだっけど、千春の存在が力を貸してくれた。金1個が千春にとっても、わたしにとっても最高のメダルになった。

詳細は朝刊で